

ウクライナ侵攻に思う

一会員から北海道 AALA へのメール

こんにちは、影山です。

今回のウクライナ侵攻には、身の毛もよだつ恐ろしさを感じています。

次に声明を出されるときには、「非同盟」の AALA として、ぜひ「NATO=軍事同盟」の問題をと思いました。

侵略行為について、ロシアに一片の正当性もありません。しかし、その背景とその後の経過をみると、NATO の問題を看過できないと思いました。

また、侵攻前に外交努力が尽くされたとは思えず、その後も「ウクライナの皆さん、頑張ってください」と欧米諸国が武器や軍事費を注ぎ込み続けています。

(シリアのように世界中の爆弾が降り注ぐのか?? チェルノブイリや原発のある国で! 核保有国が当事者になって!!)

ウクライナ政府も男性国民に退避を禁じ、「武器を使える人、みんなウクライナへ」と他国民の参加を呼びかけています。

在日ウクライナ大使館も「ウクライナ領土防衛部隊外国人軍団への動員の呼びかけに際し、日本の皆様から多くのお問い合わせをいただき、誠にありがとうございます。候補に対する大事な条件の一つは、自衛隊経験など、専門的な訓練の経験です。ご了承をお願い致します。」とツイッターに投稿しています。

このままアフガニスタンのようになるのでしょうか。

ウクライナ国民にとっても、ロシアにとっても。

侵略し、戦争を始めた責任はロシアにあります。しかし、アメリカやヨーロッパは戦争を本当に終わらせるつもりがあるのか!と感じています。

「戦争・戦闘を煽るな! 一刻も早く戦闘を終わらせる外交努力を尽くせ!」とアメリカや EU にもいう必要があるのではないのでしょうか。

ウクライナの件を利用して、日本にますますミサイル配備、軍備拡張がすすむ事態を心から危惧しています。

NATO (=アメリカのミサイル) と同居しつつ、ロシア (=中国) と対峙させられるウクライナ (=台湾、日本、韓国)。そして戦場はウクライナ (=台湾、日本、韓国)。

いざ有事となれば「みなさん頑張ってください」と欧米は武器を提供。戦場にされ、闘わされるのはウクライナ (=台湾、日本、韓国) とロシア (=中国) ウクライナの行方は、私たちの未来の映し鏡のように見えるのです。

ロシアは撤退しろ！と同時に、

核をもてあそぶな！

真剣な外交努力を！

NATO、軍事同盟やめろ！

と、思っています。

落ち着かない気持ちのまま、思っている事を書き連ね、長文になりすいません。ウクライナのこと、軍事同盟（非同盟）との関係で、ぜひ深めて頂きたいなと思っています。

シリアも、イエメンも、ソマリアも、もちろんパレスチナでも、空爆と占領は続いているのに…

影山あさ子： ドキュメンタリー映画監督（森の映画社） 日本 AALA 理事